



天野進吾が視る。語る。今日のできごと。まつりごと。

ホームページを見てください <http://www.amano-shingo.info>

## 「平成の大合併」の裏に

近年、総務省の「平成の大合併」方針に添えて全国の自治体は恰も「大きい事はいいことだ」とばかり自らの街の成り立ちや個性を無視して進行しているのです。

勿論、小さな自治体では早晩「立ち行けなくなる」この政府の恫喝にも似た教示もあり、例えば本県でも数年前まで72市町村あった自治体が、今や42市町にまで削減され、国の思惑は極めて順調に推移していったのです。

30年前、国は「地方の時代」と云うまことに耳障りのいい言葉を作成し、地方の個性化、独自性を鼓舞したのであります。恐らくこの時代には国もその後のバブル崩壊によって地方財政が困窮する事態を想像していなかったでしょう。それ故、バブル経済に有頂天になった自治体も決して少なくありませんでした。

そうした背景の中、国は零細な町村を大規模化させることによって、自治体の足腰を強化すると云う明快な目的のもとに、「平成の大合併」が企図されました。

しかしそれは表向きの趣旨、もとより全国3300の自治体を面倒みる国側の地方行政への効率性が第一義であることは明らかであります。

本当に合併しなければ先行き二進も三進も行かない自治体とは、「夕張」の自滅は別としてどのよう

な状況を指すのか、私には単に恫喝にしか思えないのです。

「平成の大合併」の裏では確実に「地方の時代」は終焉したのです。

### 40年の歳月が流れました

私が昭和42年4月の市議会議員選挙に出馬を決意し、家族に宣言したのは丁度40年前の今頃でした。

2月が誕生日の私は被選挙権を得る「25歳」には未だ至っておりませんでした。私にとって高校時代から思い描いていた「人生設計」の最初の関門は、なによりも家族の説得でした。勿論、学生結婚した私は、既に一児の父親としての責任があれば、それが極めて無謀な挑戦であり、職を辞して立候補することに妻はもとより両親兄弟等の激しい反対の嵐に遭遇していたのです。

しかし、「試みる」ことなく、置かれた環境に尻込みしたならそれは生涯払拭できない挫折となったでしょう。その時の為に、私は大学では政治学を専攻し、弁論部に席を置いたのです。理容師の息子が政界にデビューするためには可能なかぎりの「試みと努力」を続けてきました。

私が試みようとする「暴挙」に家族の誰もが反対しながらも、最後まで拒む事が出来なかったのは、この時のための一途な努力の日々を家族は知っていたからでしょう。

そして徒手空拳のままに出馬した私に2854票という望外の票を得て当選したのです。

### 羅針盤の役割をもって

爾来40年、激動の歳月ではありましたが、与えられた環境のなか、遠慮なく自らの思う所を率直に提案して参りました。

勿論、蠅螂の斧の私がかかでも自らの脇を固めて、攻撃を回避する姿勢を持っていたならば、支援者にもう少し安心して見て頂けたらとうと存じます。否、実際、施政の上においても一層の恩返しが出来たかもしれません。

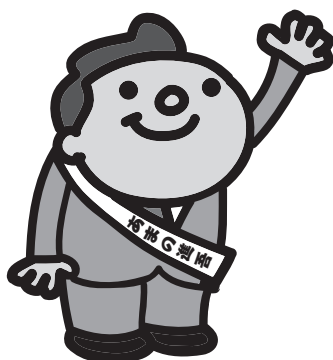
今、私はこの長い地方行政の経験をもとに、県と市の歩む方向が誤りなきよう「羅針盤」の役割を担って頑張ってまいりますので、一層のご支援の程宜しくお願いいたします。

4月8日に向けて

猪突



ついでに



ご支援ください。そして本年もよろしくお願ひします。



# 瀬名に生まれた築山御前の生涯

徳川家康の最初の妻、後に「築山御前」と呼ばれた「瀬名姫」の運命ほど時代のうねりに翻弄された女も少ないでしょう。

今川家の重臣、関口親永の娘として1542年（家康も同じ）に瀬名に生まれた。今川義元の姪にあたり、幼少の頃からその美貌と気品は人々の関心を引いた。

一方、竹千代は今川の人質として義元の叔父にあたる太原雪斎のもとで勉強していた。

ある日、義元の主催する蹴鞠の会で、瀬名姫は竹千代に出会う。この時、今川義元は竹千代の天賦の才を見抜き今川家の将来を慮って二人を結びつけた、典型的政略結婚であった。

しかし時代は将に「戦国」の世の中、まさかと思われた東海の雄今川義元が小大名織田信長の奇襲にあえなく破れ戦国の地図は大きく変わった。

三河に戻った家康の周辺も虚虚实実の世相の中にあつて、家康親子（長男信康・長女亀姫）の間にも冷たい隙間風が入り始めたのであつた。

岡崎に移った瀬名姫は「築山曲輪」に住む事になったことから、「築山御前」と呼ばれた。しかし家康の生母「於大」の方は今川の血を引く築山殿に辛く当たり、その結果、実に12年も歳月の間、臥薪嘗胆の日々を送ら

せることになった。

今となつては真実か否か解りませんが「浮気」や「武田」方に内通したという理由をもって信長は家康に築山殿と信康親子の殺害を命じたのである。

1579年浜松城を目前にして築山御前は時代の藻屑となつて僅か38年の短い生涯を閉じたのである。



## 一寸一言

私の雑記帳から

### お宝発見・・・キョーゴトウシヨウ...

慶長年間、今の金座町では、その命名通り慶長小判が製造されておりました。

50年前、ここに住む長嶋牛乳店が家を改築した際、小判の製造過程で、溶解した金を入れる「坩堝」が発見されました。

坩堝は丁度家庭の湯呑みほどの大きさですが、発見した当初、家人はその内側が金色に光っていたものの、何か

判らず、長嶋家ではこれに灰を入れて「香炉」にしてしまいました。その為に現在ではこの貴重な坩堝は内側が黒ずんで汚れてしまったのであります。

## 天野進吾後援会 からのお願い

下記の行事を実施します。  
Shingo-Scopeの読者の皆様には是非ともご参加を頂き、天野進吾を激励いただきますようお願いいたします。

### ☆天野進吾後援会女性部『新春の集い』

- 日 時：1月23日火曜日 14時より
- 場 所：もくせい会館
- 会 費：無料

### ☆天野進吾を励ます集い

- 日 時：3月1日木曜日 18時30分より
- 場 所：静岡市民文化会館 中ホール
- 会 費：5,000円



### スコープはおかげさまで 3年経過しました。

毎月発行は慣れない私にとって意外に忙しい仕事でした。読者からの激励もあり、「豚も煽りや・この言葉通り、一生懸命書き綴って参りましたが、早くも今回で37号を数えました、この間ご愛読戴いた皆様に改めて感謝いたします。

何時まで継続できるか解りませんが、これからも頑張つて発行させて戴きます。有難うございました。

天野進吾拜

### 歴史講座のお知らせ

町内会の集い、サークル活動などに天野進吾を呼んでみませんか。嬉しいことに最近、グループや町内会などで『天野進吾』の歴史講座の要望が増えて参りました。

このSHINGO-SCOPEの郷土史が好評です。その現れかもしれません。どうぞ、お気軽にお声掛けください。